

水泳部 創部90周年を祝う会

幹事あいさつ

新17回生の細矢でございます。幹事を代表しまして、ご挨拶申し上げます。
本日はお忙しい中、わが水泳部創部90周年を祝う会にご出席いただきまして、ありがとうございます。

わが岩手中学校は、大正15年4月に創設されたわけで、今年で90周年を迎えます。
第1回生であります遠藤貫中先生のお書きになった「水泳部の古い思い出」、記念誌の最初に掲載されていますが、そこに「新入生の石原、古館、遠藤等、水泳界の恩人瀬川政雄さんがつくられた杉土手のプールに、呼べば答える如くに集まったのが水泳部の誕生とあって良いであろう」、とお書きになっています。私たちはこれを基準に70周年、80周年を行ってきたわけで、本日の90周年に続いている訳です。

遠藤先生は「水泳部の古い思い出」のなかで、水泳部として大切な事柄、長年の夢であった自分たちのプール建設への願望、昭和30年完成のプール建設にむけての働きかけ、そして、この熱望を受けての三田理事長のご決断、建設にあたっての先輩諸氏のご協力等々、忘れてはならないと、お書きになっています。

また、最も重要なことは、水泳部のOBの私たちのモットーなるべきこと、すなわち「OB会は会員の相互扶助と会員同士の和を重んじよ」、と述べられています。そして時折、親睦の会を開いて、水泳部の歴史を語り合い、後輩に伝えていきなさい、プール建設時の精神を受け継いでいきなさいと述べられています。

私は、本日の祝う会開催の最大の目的はその辺にある、と思っています。

本日は、村井校長先生、県水泳連盟西川副会長、小枝指石桜同窓会会長、ほか、ご来賓の方々にもご出席いただきました。そしてまた、現役の水泳部員6名をご招待し、出席いただきました。

祝う会の次第にもありますとおり、水泳部の大先輩である岩根さんやご来賓の皆様からご挨拶を頂戴するほか、先輩の皆さんからスピーチを頂戴する予定です。OBの皆さんには青春時代を思い出していただくとともに、現役の皆さんには、ご挨拶のなかで述べられたことを通し、わが水泳部というところは、そんなところだったのか、とご理解いただければ幸いです。

90周年の記念誌についてちょっと申し上げます。

企画、具体的な内容については小生が担当しましたが、全体的な調整は中村 轟幹事エピソード等の情報提供は斉藤 誠幹事、水泳部の最近の活動状況は望月幹事が担当いたしました。そしてパソコンでの入力には吉田 實幹事が担当いたしました。原稿を何度も何度も変更したので、吉田幹事はその都度打ち直しをさせられ、さぞかし苦痛だったと思います。また記念誌の製本は吉田幹事がひとりで作業し完成させたものです。

どうぞ、ご笑覧いただきたいと思います。

本日は、この記念誌も肴の一つにしてに、時間の許す限りごゆっくりとご歓談いただき、楽しい会にしたいと思います。簡単ですが、幹事のご挨拶といたします。

以上